

みんなにやさしい、特別支援教育（7）

子どもたちが生活しやすくなるように支援することを構造化と言います。子どもたちの実態に応じた様々な構造化を図ることで、活動の見通しを持って、自立した生活が送れるようになります。

◆一日のスケジュールを分かりやすく示す工夫

全て子どもたちが視覚的に理解できるようにスケジュール表を作成し、絵や写真で一日が分かるようにして、黒板などに掲示しています。支援学級では、同じであったとしても、「ぼくのわたしのだ」という意識で一人ひとりのスケジュール表が望ましいですね。

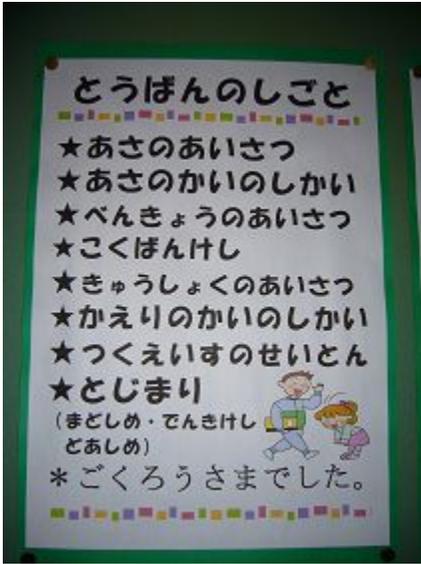


1・2年生では、左の写真のように共通したスケジュール表が黒板の左側に掲げられています。



支援学級の一人ひとりの個別スケジュール表

◆活動の手順を分かりやすく示す工夫



かたり	牛にゅう	ごはん、パン	おかず(大)	おかず(小)	はいぜん台
牛にゅうをはこぶ	ごはんをはこぶ	ワゴンをはこぶ	おぼんをワゴンからおろす	はいぜん台を	ふく
水色のバケツ入れをくむ	ごはんをよそう	食器をはいぜん台に出す	おかずをよそう	ごみぶくろを	つける
牛にゅうをバケツ入れにおく	パンをおぼんにのせる	食器をワゴンにおく			
デザートをはこんでのせる					
日本はやくさつ(ある時)	のこっているものは大食かんへ	食器・おぼん・大食かんを	のこっているものは大食かんへ	はいぜん台を	ふく
牛にゅうの箱と牛にゅうバケツ	ごはんの入れ物をあかう	のせてワゴンをもどす	しめが、大食かんにあつてもどす	こみぶくろを	つける
水色のバケツをあらう	パン・ごはんをもどす	(生徒といく)	こみぶくろを	こみぶくろを	つける



◆提出物を出しやすくする工夫



何を入れるか明示したり、班ごとに
出すケースを設置したりしている。

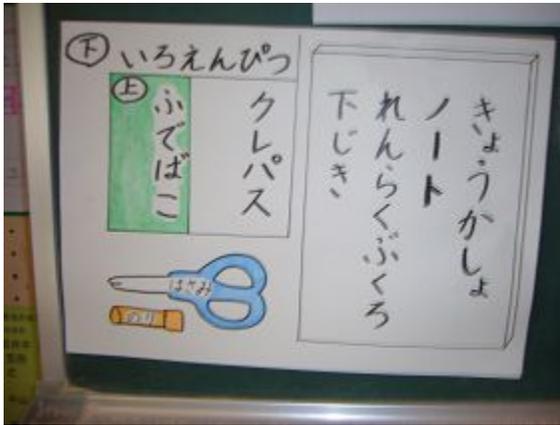
提



朝の用意する仕事を黒板にカードで指示
したり、提出物も黒板下にケースを置いて
出しやすくしたりしている。



◆持ち物を整理しやすくする工夫



引き出しの中の整理の仕方やロッカーに荷物を入れるときの基本的な形を示し、その見本に従って入れる。



◆仕事分担がよくわかる工夫



する仕事などが明示してあるので、子どもも動きやすい。他にも、たくさんの工夫をされている学級が多いですね。

